

# 令和 4年度 上伊那圏域地域自立支援協議会議事録

|                  |  |                                      |      |             |    |             |
|------------------|--|--------------------------------------|------|-------------|----|-------------|
| 会議               | 部会名  | 第 3 回 重心・要医療的ケア部会                    | 参加者数 | 27<br><br>人 | 会場 | 宮田村民会館 視聴覚室 |
|                  | 日時   | 令和 5 年 2 月 15 日 (水)<br>15:00 ~ 16:40 |      |             |    |             |
| 主<br>テ<br>ー<br>マ | <p>1 今年度のまとめ報告</p> <p>2 医ケア児支援について意見交換</p> <p>3 来年度の部会体制について</p>   |                                      |      |             |    |             |
|                  | <p>1 今年度のまとめ・報告</p> <p>①6/24(金) 伊那養護学校「つくし進路福祉懇談会」に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒後の生活についての事例を共有。</li> <li>・社会資源不足(ショートステイ・生活介護等)の状況を共有。</li> </ul> <p>②8/19(金) 第1回重心・要医療的ケア部会で看護師の交流会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・福祉・教育現場の看護師の役割や課題を共有。</li> </ul> <p>③9/22(木) 社会資源拡大に向けて南箕輪村『地域密着型介護老人福祉施設ふれあい』訪問。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医ケア児等の入浴の協力願いに伺う。現在共生型の児童発達支援事業所と放課後等デイサービスの指定申請をしたところ。4月利用に向けて準備中。</li> </ul> <p>④10/20(木) 第2回重心・要医療的ケア部会と療育等連絡会と合同部会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上伊那圏域の医療的ケア児等の支援体制の現状と課題について共有。</li> <li>長野県医療的ケア児等支援センターから助言を頂く。</li> </ul> <p>2 医療的ケア児等の支援について意見交換 (概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より上伊那圏域の支援機関と役割、医療的ケア児等Co配置による効果について説明。</li> <li>・『町』より、医ケア児の支援で現在保健師が困っているので、圏域に医療的ケア児等Coの配置をお願いしたい。</li> <li>・訪問看護師が重要な伴走者になるべきであることは分かるが、実際に学校への介入は難しい。訪問看護師として今後何ができるのかを考えていきたい。</li> <li>・福祉サービスを利用しない場合は相談支援専門員に繋がらないことが殆ど。もし圏域でのCo配置が困難であれば、『町』独自で依頼することも検討しなければならないと考えている。</li> <li>・福祉サービスが切れた場合や就学後に学校がメインになった時、相談できる場所があるとよい。これまで『村』医療ケア児等Co配置した経緯があるが、役割が不明瞭になってしまった。</li> <li>・児童発達事業所の看護師の集まりで、現場の困り感について病院に助言を求めても、なかなか返答がなく困っている。看護師も一人職場なので、困った時に相談できるよう、圏域に医療的ケア児等Co.がいてくれるとありがたい。</li> <li>・『村』は保育園入園に向けて、こども相談室が伴走してきた。伊那養護学校に入学予定の児童がいるが、こども相談室がコーディネートしている。</li> <li>・相談支援専門員の人材育成について、主任相談支援専門員や地域自立支援協議会の相談支援専門員連絡会を含めて検討が必要。</li> <li>・『行政』としては、国や県の役割等が示されてからでないといけないと難しい部分がある。他圏域の好事例なども参考にしながら経過をみていきたいという発言があった。</li> <li>・重心・要医療的ケア児の支援は時間も労力も必要でとても大変だが、誰かがやっていくしかない。医療的ケア児等Coはスピード感も求められ、一人では負担が大きすぎる。</li> </ul> <p>3 来年度の部会体制について事務局より説明。</p> |                                      |      |             |    |             |
| まとめ              | 部会としては圏域内に医療的ケア児等Coの配置は必要であると考え、運営委員会にまとめを提出する。  |                                      |      |             |    |             |
| 次回               | 記録   |                                      |      |             |    |             |